

9 講座・研修・人材育成

保護者や関係者・教職員等に対するさまざまな講座や研修等のプログラムを実施しています。また、医師・セラピスト・保育士などの施設実習の受入を行い、人材育成に協力しています。

取り組み内容	概要	利用実績(前年度)
一般向け 市民講演会	発達障害をもつ子供の世界観や関わり方を学び、発達障害の特性等を正しく理解することを目的として実施しています。 【講師】外部専門家 【対象】西宮市民	年1回開催 (11月21日) 参加者 65人
発達障害セミナー	発達障害児の発達特性についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応や支援方法について学びます。 【講師】こども未来センタースタッフ 【対象】保育所・幼稚園・学校等の教職員	1回実施(0回) ※R3は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止 参加者数 123人(0人)
身体障害セミナー	身体障害児の幼児期・学童期における発達の課題についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応・支援方法を学びます。 【講師】こども未来センタースタッフ 【対象】保育所・幼稚園・学校等の教職員	1回実施(0回) ※R3は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した 参加者数 78人(0人)
専門職向け 特別支援教育 コーディネーター スキルアップ研修	子供の発達を医療、心理、福祉、教育など多様な観点からアセスメントできる力を養うとともに、具体的な支援方法の提案や組織的対応のコーディネートなど、教育現場における子供の発達支援の指導的立場となる教職員を育成することを目的としています 【講師】外部専門家 【対象】西宮市立小中学校教員	参加者 24人(21人)
子供支援講演会	脳科学的見地に基づいて発達上に課題のある子供への支援方法を学ぶ。 【講師】外部専門家 【対象】児童発達支援・放課後等デイサービス事業所、幼稚園、保育所職員等、市役所職員	年1回 動画研修 (6月2日～9月30日) 参加者 99人
医療従事者向け研修	脳科学的見地に基づいて発達上に課題のある子供への支援方法を学ぶ。 【講師】外部専門家 【対象】こども未来センター職員、医師会(小児科医)、地域保健課、保育所事業課	年1回 動画研修 (11月1日～12月28日) 参加者 115人

(1) 一般向け

ア 市民講演会

発達障害をもつ子供についての一般市民への理解促進を目的として、市民講演会を実施しています。

令和4年度は11月21日(月)に国立成育医療研究センターの小枝達也氏を講師に招いて「幼児期の発達障害に対する気づきと学校における支援について」をテーマにオンラインで開催しました。参加者は65人でした。

(2) 専門職向け

ア 発達障害セミナー

発達障害の子供の教育・保育に関わっている保育士、幼稚園・学校教諭、及び関係機関職員に対し、発達障害児の発達特性についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応や支援方法について学びます。

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、現地会場およびオンライン【ZOOMウェビナー】によるハイブリッド形式で開催。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
発達障害セミナー	4回	4回	2回	—	—	1回
	82人	145人	82人	—	—	123人
	(254人)	(198人)	(109人)	—	—	41人(現地参加) 82人(オンライン参加)

()内は延べ人数

イ 身体障害セミナー

運動や言語の発達に遅れがある子供や身体に障害のある子供の教育・保育に関わっている保育士、幼稚園・学校教諭、及び関係機関職員に対し、乳幼児期から学齢前半期における発達の課題についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応・支援方法を学びます。

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、現地会場およびオンライン【ZOOMウェビナー】によるハイブリッド形式で開催。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
身体障害セミナー	4回	3回	3回	—	—	1回
	20人	45人	45人	—	—	78人
	(69人)	(75人)	(62人)	—	—	28人(現地参加) 50人(オンライン参加)

()内は延べ人数

ウ 特別支援教育コーディネータースキルアップ研修

- 【講師】 片山 泰一 氏（子どもの発達科学研究所代表理事）
 和久田 学 氏（子どもの発達科学研究所主席研究員）
 大須賀 優子 氏（子どもの発達科学研究所主任研究員）
- 【対象】 西宮市立幼稚園、小中学校教員 24名
- 【内容】 社会心理、生命科学、教育支援 21時間

回	分類	タイトル	内容	時間
1	教育支援	子ども理解	現状理解、発達障がいへの正しい理解、子ども虐待	1.5
	教育支援	行動支援	なぜ子どもたちは不適応行動をするのか、行動を捉える、応用行動分析、環境設定	1.5
2	生命科学	発達障がいと脳	発達障がいを脳機能から捉える	1.5
	生命科学	子ども虐待と脳	子ども虐待の深刻な影響、子ども虐待への支援	1.5
3	社会心理	インクルーシブ教育と合理的配慮	典型例の研究、障害者差別解消法とインクルーシブ教育、合理的配慮とは	1.5
	社会心理	家庭支援	保護者面談（演習）、保護者理解、保護者支援のシステム、インテーク（演習）、結果の提示、家庭支援	1.5
4	教育支援	事例検討 1	支援のデザイン、支援のヒント、事例検討の必要性、事例検討の目的と枠組み	1.5
	教育支援	事例検討 2	正しいアセスメントのために、モデルで理解する（冰山モデル）、事例検討演習、コンサルテーションの前に	1.5
5	教育支援	巡回相談	各学校の実際を視察（演習）	2
6	教育支援	巡回相談	各学校の実際を視察（演習）	2
7	教育支援	巡回相談	各学校の実際を視察（演習）	2
8	教育支援	脳機能から考える行動支援・学習支援	脳機能から学習・行動を捉える、実行機能と学習・行動、記憶と学習・行動	1.5
	社会心理	特別支援教育のシステム	特別支援教育のシステム化、学びを具体的に生かすために、支援コーディネーターの役割	1.5

(3) 教職員研修企画

特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、そのほか特別支援に関わる教職員に向けた研修を特別支援教育課と連携し、計画・実施しています。

研修名	対象	延べ人数	回数
特別支援教育コーディネーター研修	幼小中高義特のコーディネーター	293	3
特別支援学級担任研修	小中義の特別支援学級担任	177	種別ごと 各1回
特別支援教育支援員研修	小中義の特別支援教育支援員	175	3
介助支援員研修	小中義の介助支援員	104	3
保育支援員研修	幼の保育支援員	76	2
特別支援教育にかかる情報化研修	小中義の教職員	5	
ノートテイク研修	難聴の子供に関わりのある教職員	24	

※その他、特別支援学校主催の研修や県教委主催の研修についても紹介とまとめをしています。

(4) 実習生受入

実習内容	学校名	人数	時期
PT 臨床実習	畿央大学	1	令和4年6月～7月
	神戸学院大学	1	令和4年6月～7月
		2	令和5年1月～2月
	平成リハビリテーション専門学校	1	令和4年8月
OT 臨床実習	藍野大学	1	令和4年9月～10月
	大阪公立大学	1	令和4年9月
	神戸医療福祉専門学校三田校	1	令和5年1月～2月
ST 臨床実習	国立リハビリテーションセンター学院	1	令和4年6月～7月
看護師実習	西神看護専門学校	5	令和4年6月
医師実習	兵庫医科大学	2	令和4年11月
保育実習	甲南女子大学	2	令和4年7月～8月
		2	令和5年2月～3月
	京都女子大学	1	令和4年8月～9月
	武庫川女子大学	1	令和4年8月～9月
		1	令和4年11月
	関西学院 聖和短期大学	1	令和5年2月～3月
社会福祉士実習	神戸女子大学	1	令和4年6月、 令和4年10月～11月
	神戸学院大学	1	令和4年9月
公認心理師実習	武庫川女子大学大学院	1	令和4年9月～12月
	神戸女学院大学大学院	3	令和4年4月～7月、 令和4年8月
		9	令和4年9月
	<合計>	36	